



平成23年8月4日

## ロウソクの取扱いにご注意を！

～ 本年は4人の死者が発生しています ～

ロウソクによる火災は、本年30件発生し4人の死者が発生しています。お盆やお彼岸を迎え、ロウソクを使用する機会が増えることから、東京消防庁ではロウソクの取扱いについて注意を呼びかけています。

また、夏場に多く発生する落雷で停電した場合、照明代わりにロウソクの使用も予想されることから、併せて注意が必要です。

### 【ロウソクの主な使用目的】

ロウソクの使用目的を分類すると、大きく3つに分ける事ができます。

- 1 灯明  
仏壇や神棚、祭壇等で使用
- 2 照明  
電気の供給を止められた時の照明代わりや、室内の雰囲気作りで使用
- 3 アロマテラピー  
火をともしることにより、様々な香りを楽しめ、リラクゼーション効果が得られるとして使用（芳香療法）

### 【火災発生状況】

- 1 ロウソクによる火災は、過去5年間で310件発生し、死者10人、負傷者145人と多くの方が受傷しています。  
また、今年の火災件数は30件で、死者4人が発生しており、内訳は灯明の使用によるものが3人、照明の使用によるものが1人となっています。また負傷者は16人となっています。（7月31日現在の速報値）
- 2 灯明を不安定な状態で燭台に置き、使用中に灯明が転倒して仏具に着火した火災や、灯明の近くに置かれたお供え物に着火した火災、お供え物をしようと手を伸ばした際に着ている衣類に着火した火災などが発生しています。
- 3 今年3月に発生した東日本大震災に伴う計画停電に起因した火災が2件発生しています。いずれも停電中に発生したものではありませんでしたが、1件は、計画停電に備え、実施時間前に点灯したロウソクにより出火し、1件は、計画時間外でしたが停電が始まると勘違いし、点灯したロウソクにより出火しています。※ 詳細は火災事例参照

### 【火災を防ぐために】

- 1 ロウソクを使用しているときは、その場を離れないようにしましょう。
- 2 ロウソクは、金属製、陶・磁器製など、ロウソクの転倒や燃え尽きたときでも火がつかない物に、安定させて立てましょう。また、ロウソク立てを使用する場合、サイズに合わないロウソクを使用すると、ロウソクの底部が割れ、ロウソク立てから落下する危険があるので注意しましょう。
- 3 転倒に備え、周囲には燃えやすいものを置かないように注意しましょう。
- 4 万が一に備え、消火器や水の入ったバケツなど、消火の準備もしておきましょう

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

問合せ先

（東京消防庁 代 電話 3212-2111  
予防部調査課 内線 5062 5066  
広報課報道係 内線 2345～2350）

【別紙】

1 ロウソク火災状況（平成18～23年）

出火原因	火災事件数								焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者
	合計	建物					車両	その他					
		小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや							
合計	310	293	16	19	86	172	1	16	4,118	1,066	984,584	10	145
平成18年	63	59	2	4	19	34	1	3	628	252	200,142	-	33
平成19年	64	59	2	5	11	41	-	5	729	294	177,054	2	32
平成20年	71	67	2	4	28	33	-	4	958	230	182,083	4	28
平成21年	62	59	4	4	16	35	-	3	602	229	228,151	3	28
平成22年	50	49	6	2	12	29	-	1	1,201	61	197,154	1	24
平成23年	30	29	-	3	11	15	-	1	244	93	32,339	4	16

※1 合計欄の数値は、平成18年から平成22年の合計値です。

※2 平成23年の数値は7月31日現在の速報値で、後日変更される場合があります。

(以下同じ。)

2 ロウソク使用目的別火災状況（平成18～23年）

年別	合計	灯明	照明	アロマテラピー	その他
合計	310	115	80	82	33
平成18年	63	11	16	19	17
平成19年	64	16	21	22	5
平成20年	71	33	19	16	3
平成21年	62	25	16	15	6
平成22年	50	30	8	10	2
平成23年	30	14	7	8	1

## 【別紙資料】

### 事例 1 灯明に起因した火災

出火日時 平成 22 年 8 月 8 時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 3/0 延 228 m<sup>2</sup>

被害状況 建物部分焼 1 棟、2 階 10 m<sup>2</sup> 焼損、負傷者 1 人

#### 概要

この火災は、共同住宅の 2 階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の 70 歳代の男性が、仏壇奥にある位牌を取ろうとした際、腕などがロウソクに触れて、ロウソクが落下したことに気付かず外出したため、床に置かれていた衣類に着火し出火したものと推定されます。

発見、通報は、3 階の居住者が、洗面所配管付近できな臭さを感じたので付近を確認すると、2 階の部屋から煙が出ているのを発見し、自分の携帯電話で 119 番通報しました。

初期消火はありませんでした。

なお、この火災により、通報者の 1 人が負傷（軽傷）しました。

写真 1 - 1 仏壇付近の状況



写真 1 - 2 復元した状況



## 事例2 ローソクを照明代わりに使用して発生した火災（1）

出火日時 平成23年3月 18時ごろ

用途等 住宅 防火造2/0 延142㎡

被害状況 建物部分焼 1階25㎡ 天井等30㎡焼損 負傷者2人(いずれも軽傷)

### 概要

この火災は、住宅の2階寝室から出火したものです。

出火原因は、居住者の80歳代の男性が、18時20分から始まる計画停電に備え、点火したローソクをプラスチックの容器に立て、寝室の未開封のトイレットペーパー(12個)の上に置いていたため、時間の経過とともにローソクが短くなり、プラスチックの容器に着火し出火したものと推定されます。

発見、通報及び初期消火は、寝室で寝ていた70歳代の妻がきな臭さで目を覚ますと、ローソクを置いていたトイレットペーパーが燃えているのを発見し、「火事だ」と叫んで夫に知らせました。夫は火災を確認後、ボウルに水を汲んで掛けましたが消火できず、妻を連れて避難する際、自宅の電話で119番通報しています。

なお、この火災で居住者の2人が負傷(軽傷)しました。

写真2-1 出火室の状況



ローソクを置いていた位置

写真2-2 出火箇所付近の状況



焼損したトイレットペーパー

### 事例3 ローソクを照明代わりに使用して発生した火災（2）

出火日時 平成23年3月 2時ごろ

用途等 共同住宅 耐火造 3/0 延 196 m<sup>2</sup>

被害状況 建物ぼや テレビ1 プラスチック製容器1 各焼損

#### 概要

この火災は、共同住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、居住者の40歳代の女性が、これから計画停電が始まると勘違いし、点火したローソクをプラスチックの容器に立て、テレビの上に置いてそのまま寝込んでしまったため、時間の経過とともにローソクが短くなり、プラスチックの容器に着火し出火したものと推定されます。

発見、初期消火は、居住者の女性がきな臭さで目を覚ますと、テレビの上から火が出ているのを発見し、息を吹きかけて消火しました。通報は、同じ共同住宅の2階に住む男性がきな臭さで目を覚まし、1階へ降りると白煙が漂い、「火事だ」という声が聞こえたので自分の携帯電話で119番通報しました。

なお、この火災で負傷者は発生していません。

写真3-1 ローソクを置いたテレビの状況



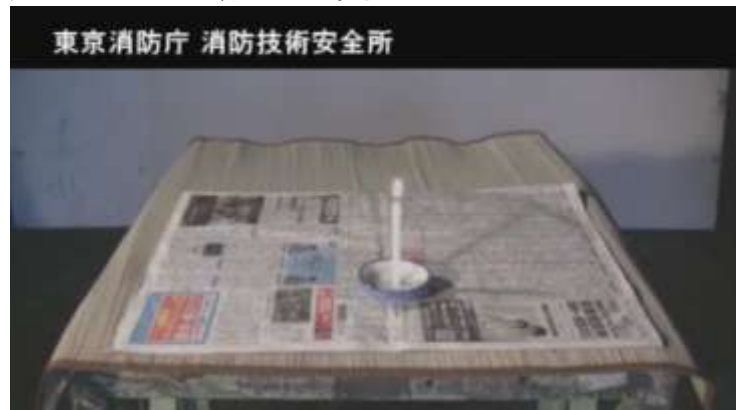
写真3-2 出火箇所の状況



**【資料映像】**

**実験1 ローソクが新聞紙上に転倒した場合**

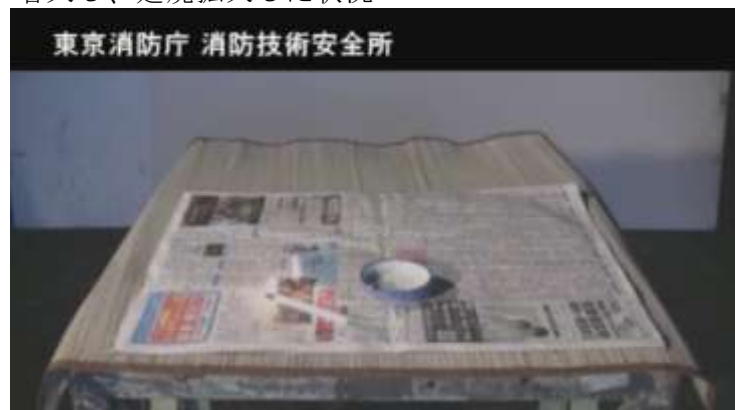
- 1 小皿にローソクを立てて着火した状況



- 2 ローソクが転倒した状況



- 3 新聞紙に着火し、延焼拡大した状況



- 4 延焼拡大した状況



## 実験2 プラスチック製容器に立てたろうそくが転倒した場合

### 1 実験開始時の状況



### 2 ろうそくが転倒した状況



### 3 プラスチック製容器に着火し延焼拡大した状況



### 4 延焼拡大した状況



### 実験3 プラスチック製容器に立てたろうそくが燃え尽きた場合

#### 1 実験開始時の状況



#### 2 ろうそくが燃え尽き、プラスチック製容器に着火した状況



#### 3 プラスチック製容器に延焼拡大した状況



#### 4 延焼拡大した状況





## 実験4 ローソクを灯明として使用した場合

1 灯明が着衣に着火した状況



2 灯明が転倒して座布団に着火した状況



3 灯明が時間経過とともに短くなり  
可燃物に着火した状況



4 灯明が転倒してお供え物に着火した状況

